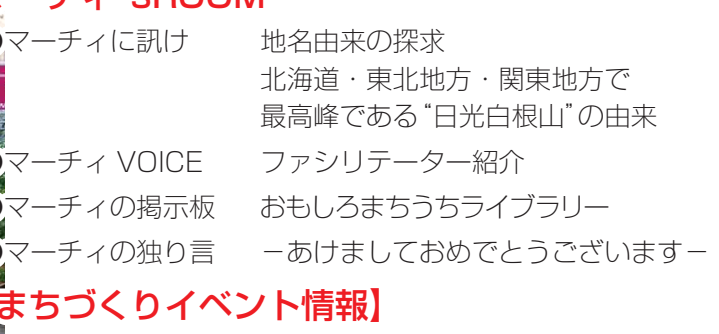
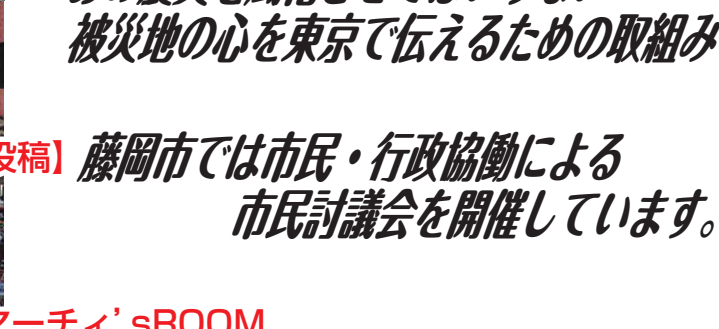
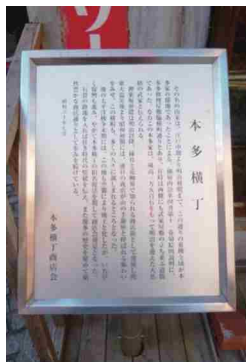




おまち

Vol.
81

2014. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)



【連載】 観光まちづくり最前線
地域を歩くレポート No.3

**あの震災を風化させてはいけない～
被災地の心を東京で伝えるための取り組み**

【投稿】 藤岡市では市民・行政協働による
市民討議会を開催しています。

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け 地名由来の探求
北海道・東北地方・関東地方で
最高峰である“日光白根山”の由来
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 おもしろまちうちライブラリー
- マーチィの独り言 ーあけましておめでとうございますー

【まちづくりイベント情報】
県内で行われるイベントの紹介



～伊勢崎駅付近連続立体交差事業と伊勢崎市のまちづくり～

一步路地に入ると、石畳・黒塀・竹林など既存の地域資源を活用したまちづくりをしているこの街はどこでしょうか？
※答えは7ページ下部にあります。(写真：編集担当撮影など)



～伊勢崎駅付近連続立体交差事業と 伊勢崎市のまちづくり～

群馬県県土整備部都市計画課 街路係

伊勢崎市のJR両毛線と東武鉄道伊勢崎線は、中心市街地をY字状に通っているため、市街地の分断や踏切遮断による交通渋滞が発生し、市街地の発展を妨げる要因となっていました。このため、伊勢崎駅付近の鉄道を連続立体交差事業により高架化し、併せて駅周辺土地区画整理事業などで道路や駅前広場の整備をすることで快適で魅力的なまちづくりを進めています。



伊勢崎駅付近連続立体交差事業

伊勢崎市中心部の東武鉄道伊勢崎線が平成25年10月19日に高架切替されました。今回完成した区間は延長2.2kmで、平成22年5月に高架化が完了しているJR両毛線と合わせて延長4.7kmが高架化されたことになります。高架化により20箇所の踏切(うちJR両毛線7箇所、東武鉄道伊勢崎線13箇所)が取り除かれ、交通渋滞が解消されました。伊勢崎駅と新伊勢崎駅も新しく生まれ変わり、エレベーターが設置されるなどバリアフリー化され、南口と北口をつなぐ自由通路も整備され、利便性が大きく向上しました。現在は仮駅舎や旧線路の撤去、側道の整備等を行っていて、平成26年度に事業が完了する予定です。



■ 高架化された伊勢崎駅



■ 高架化されたJR両毛線と東武伊勢崎線



■ 高架化により除却された踏切

平成25年10月19日に東武鉄道の高架切替を記念して、東武伊勢崎駅で完成式典やイベントなどが開催されました。当日は関係者や多くの地元の方々に集まっていただき、盛大に式典などが執り行われ、“ぐんまちゃん”や東京スカイツリーからは“ソラカラちゃん”もお祝いに駆けつけてくれました。



伊勢崎市のまちづくり

伊勢崎市では、県の実施する連続立体交差事業にあわせて、伊勢崎駅周辺の土地区画整理事業を実施中で、駅前広場や駅へのアクセス道路を整備しています。

整備中の伊勢崎駅南口駅前広場は西側に一般車両のロータリー、東側にバスやタクシーのロータリーを分離し、その間に幅10mの通路を配置し、駅の自由通路からロータリーを横切ることなく、バス乗り場や駅前通りへ行くことができる計画となっています。

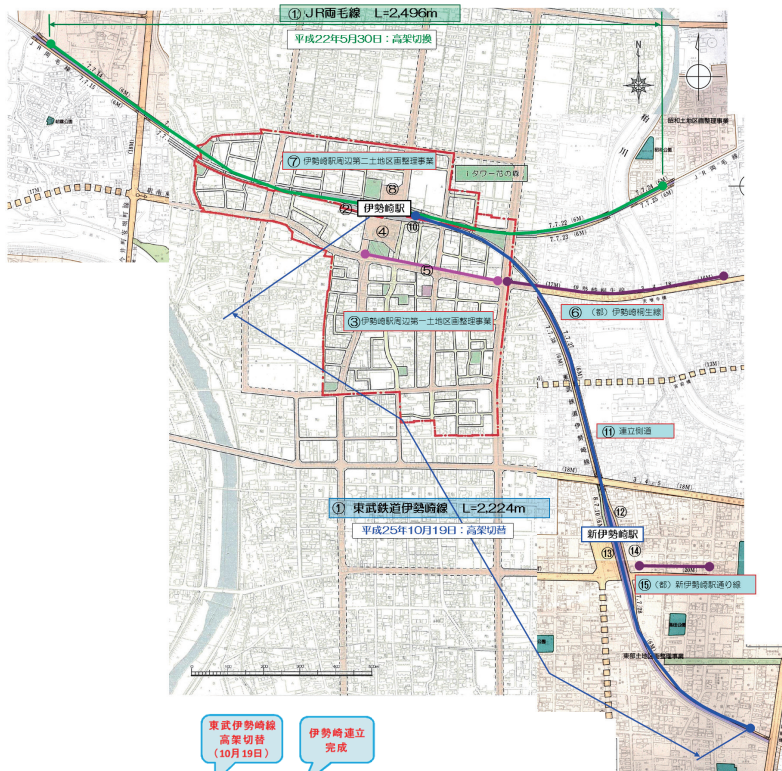
南口駅前広場の整備に合わせて、駅南口西街区に民間開発事業者による商業施設を誘導するため、施設を整備・運営する事業者の募集を行っていましたが、公募型プロポーザル方式により事業予定者が決定し、駅周辺開発が本格的に始まりました。

駅周辺では、にぎわいと活力あふれる市街地環境を創出するため、駅前広場の周辺の建物の1階部分に店舗と事務所に限定する用途制限を設けるなど、地区計画を策定しています。

また、まちなかに人を定住させるために、子育て世代を対象とした保育施設併設住宅（アイタワー花の森）を建設するなど、駅を核としたまちづくりを進めています。

連続立体交差事業の完成により、交通の結節点としての利便性を活かし、伊勢崎市の玄関口として中心市街地が今後、ますます発展することが期待されています。

伊勢崎駅南口駅前広場イメージ図



■駅周辺整備のスケジュール

場所	項目	事業主体	H23以前	H24	H25	H26	H27	H28以降	現在の状況
伊勢崎駅周辺	伊勢崎付近連続立体交差事業	① 県							工事中(H27.3完了予定)
	伊勢崎駅舎・自由通路整備	② 県							完了(H25.10完了)
	伊勢崎駅周辺第一土地区画整理事業	③ 市							事業実施中(H39完了予定)
	伊勢崎駅南口駅前広場整備	④ 市							駅広工事中(H28.3完了予定)
	駅アクセス道路整備(駅南東西通り・駅東側)	⑤ 市							工事中(H28.3完了予定)
	駅アクセス道路整備(伊勢崎桐生線)	⑥ 県							工事中(H27.3完了予定)
	伊勢崎駅周辺第二土地区画整理事業	⑦ 市							事業実施中(H35完了予定)
	伊勢崎駅北口駅前広場整備	⑧ 市							完了(H22.6完了)
	伊勢崎駅周辺地区計画	⑨ 市	住民勉強会	都市計画手続き			地区計画施行		H26.4都決予定
	高架下利用整備(駐輪場、トイレ)	⑩ 市							設計、協議中(H26.3完了予定)
新伊勢崎駅周辺	側道整備	⑪ 県							工事中(H27.3完了予定)
	新伊勢崎駅舎・自由通路整備	⑫ 県							完了(H25.10完了)
	新伊勢崎駅前広場整備	⑬ 市							設計、協議中(H28.3完了予定)
	高架下利用整備(駐輪場)	⑭ 市							設計、協議中(H26.9完了予定)
	駅アクセス道路整備(新伊勢崎駅通線)	⑮ 市							工事中(H29.3完了予定)

群馬県 伊勢崎市



被災地の心を東京で伝えるための取り組み

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

国民のみんなが心を痛めた震災から2度目の正月を迎えましたが、多くの被災地での日常は未だ戻っていません。「忘れないでほしい」～私たち帝京大学生が夏休み期間中に宮城県気仙沼市の復興支援を行う特別プログラムに参加した際に、地元の方々の心の声として教わった言葉です。

「私たちの記憶を風化させてはいけない」「復興への道は未だ長い」「被災地・気仙沼の支援を東京で何かできないか」をメンバーで考え、大下ゼミ生が一丸となって実践した3つの取り組みを、今回はレポートしたいと思います。

■ 子供たちと一緒に防災グッズをつくる (千葉県下総中山の商店街イベントでの取り組み)

10月12日、千葉県下総中山駅前でのほこ天イベントに商店会の協力をいただき「防災・減災ブース」を出展し、防災グッズづくりと気仙沼の物産品販売を行いました。

防災グッズ～船橋市在住の海老原さんが考案したもので私たちを始め関係者は「海老袋」と呼んでいます。ビニール袋を頭にかぶり目に当たる部分をカッターで切り抜き、そこを透明のビニールテープで覆ったもの。火事が起きたときにかぶり、短時間でも有害ガスから身を守るためのグッズです。子供たちに携帯してもらうために、海老袋作成後はそこにマジックで好きな絵を描いてもらい、楽しみながら防災について学んでもらうことができました。

気仙沼の物産品販売では、私たちが夏休み中に直接交渉し仕入れてきたゆずドレッシング、フカヒレスープのもと、かにの缶詰、酒粕などの加工品を販売しました。それぞれ商品を仕入れる際、震災時のお話や現状を聞かせていただきました。中でも気仙沼市で震災後一番早く製造を開始した「(株)男山本店」では、日本酒の知識から教わり、震災時のお店の様子や震災前後の販売方法の変化などを聞かせていただきました。多くの方々が気仙沼市の物産品を手にとっていただき、「私も気仙沼出身なの」「復興のために頑張ってください」など声をかけてくださいました。人々とのふれあいがあるからこそ復興が続けられるのだと感じました。



地元ケーブルテレビも、私たちの取り組みの取材にきていただきました。



子供たちと「防災グッズ」づくりに取り組みました。



イベントに参加していたご当地アイドルも、ブースを訪問してくださいました。左が海老袋の考案者の海老原さんです。

■ 食から復興観光へ～料理研究家・きじまりゅうた料理教室 “気仙沼サンマのつみれ汁”

地域の魅力は「食」から…気仙沼を訪れたことのない人に気仙沼の魅力を知ってもらい、足を運んでもらおうと、大学に料理研究家のきじまりゅうたさんをお呼びして料理教室を行いました。

きじまさんのアドバイスのもと、ゼミ生がサンマを三枚におろした後、気仙沼の伝統料理“サンマのつみれ汁”を作りました。料理教室に集まった学生には、地元の味である醤油や出汁をベースにした味付けのものと、豆板醤や味噌を加えて味付けしたきじまさんオリジナルのものの2種類をふるまい、食べ比べをしてもらいました。参加した学生



からは「料理を通し、楽しく震災への関心を高めることができた」といったコメントをもらうことができました。

料理教室後には「現在、何か震災の対策をしていますか?」「自分の周りだけでも被害を最小限にするにはどうすればいいと思いますか?」のように防災・減災について参加者に考えてもらうアンケートを行い、いつ起こるかわからない震災への備えをアピールするとともに、現地で発見した気仙沼の魅力をもとめたマップを参加者に配布しました。課題の多い被災地の現状を知るためにも、この料理教室をきっかけに、一人でも多くの人が東北に足を運んでほしいと思っています。



料理研究家のきじまりょうたさんとおしゃべりクッキング。大学の理科室が突然、料理教室のスタジオに。地元・気仙沼でお借りした大漁旗が「気仙沼のつみれ汁」のソウルフード感を高めてくれました。



当日スタッフ一同での、復興観光を祈願した「祈念撮影」
…先生は何もしていないのに格好だけは???



これがサンマのつみれ汁!!

■ 八王子いちよう祭りでの気仙沼名物販売活動～海鮮だけでない気仙沼の名物・ホルモン

気仙沼市の名物PR第三弾は「第34回八王子いちよう祭り」のブース出展。このお祭りは毎年30万人のお客さんが訪れるとても規模の大きい祭事で、プロモーション活動をする上では格好の舞台となりました。

フカヒレやホヤ、サンマにイカと、気仙沼はPRするべき魚介類の特産品が豊富なのですが、衛生管理やコストの面で魚介類は断念するしかなく、他に何か名物はないかと実際に気仙沼へ赴いた際、にんにく味噌で漬け込んだホルモンを焼いて、千切りキャベツと一緒に食べる「気仙沼ホルモン」なるものを知り、これを屋台でお馴染みの焼きそばにアレンジして販売することにしました。

さらに商品提供の際に自分たちで現地を訪れてデータを集め作成した、気仙沼魅力マップも一緒に配布したところ、「東北のどこかへ観光に行こうと思っていたからちょうど良かった」「気仙沼はフカヒレだけじゃないんだね」「気仙沼ホルモンって何?」といったお声をいただきました。

観光客数は震災直後に比べ回復しつつあるものの、いまだ震災前の数には届いておらず、低迷が続いている状況にあります。地域の名物の知名度を上げ、その地域に関心・興味を持ってもらうこともまた、東京でできる復興観光のひとつであると思います。皆さんも是非、気仙沼で地域のソウルフードと出会い、美味しいお酒とともに地元の方々との会話に花を咲かせる旅に出かけてみませんか??

(文責：堀越大・香野友恵・斎藤梨佐)



気仙沼の新しいソウルフードの一つ「ホルモンやきそば」。販売には苦戦しましたが、気仙沼のアピールには少しは貢献できたいと思います。





藤岡市では市民・行政協働による 市民討議会を開催しています。

藤岡市民討議会実行委員 田口 勇夫

2008年度から始まった「市民討議会」は2013年に6回目を開催する事ができました。この討議会は市民対象に無作為抽出で1000名に案内し、その中から希望者約30名(年度によって参加人数は異なる)が集い、自分たちの暮らす地域の事柄について自由な意見を交わし、『自分たちの意見を創り上げて意識を共有=合意形成』していきます。討議結果は年度ごとに討議会の報告書を作成し、市長へと提出され市政の一助として貢献しています。



【写真左：市長や職員を交えての実施報告書提出会の様子】



【写真右：昨年度の市民討議会グループ発表の場面】

『「協働」の理念』

この会議は行政と藤岡市青年会議所、それに一般市民有志で結成される「実行委員会」によって「協働の理念」に基づいて運営されています。

これまでの「市民討議会」で提案された意見の市政に反映された例としては…『正確な情報伝達の実施』という意見から●防犯・防災に関する情報やイベント・医療などに関するお知らせを携帯電話やパソコンのメールアドレスに配信する「ふじおかホットメール」。●防災マップ(地震防災・洪水ハザードマップ)の配布。この他にも、まずは自分たちの住んでいるところをよく知ろうという発想から●「ふじおか再発見ツアー」も行われ、大変好評でした。これらの結果は市民討議会のホームページ(<http://www.fujioka-togikai.org/>)や藤岡市ホームページの企画部企画課内、市民討議会のページで見ることができます。是非一度ご覧ください。



※ファシリテーション型会議とは研修を受けたファシリテーターが会議全体を進行していく手法です。その会議の様子はお菓子を食べながらとても和やかに進んでいきます。だから普段あまり意見を言えない人にも優しい会議です。



〔進化していく市民討議会〕

左の写真は市民討議会をより限定した地域で行う、サロンの様子です。名付けて「**e-戸端会議**」。この地域密着の会議は市民討議会で議論された結果を受けての開催となりました。幅広い年代の方で賑やかに行われていますよね。

さらに市民討議会の研修を通じて交流のあった釘山健一氏率いる「**会議ファシリテーター普及協会**」の藤岡支部が有志により設立されました！

支部では県内外のまちづくり会議や団体での会議進行をお手伝いし、ファシリテーターの普及を促進しています。以下の連絡先までご連絡ください。

<http://www.mfa-fujioka.zone-f.jp/>
メール info@zone-f.jp (代表田口まで)



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

●群馬地名由来の探求●

【編集長の一枚】



日光白根山から臨む男体山と中禅寺湖(H25.5月撮影)



まち's クリ



マーチィ

ねえ、マーチィ。北海道・東北地方・関東地方で最高峰である
“日光白根山”について教えてクリ！

日光白根山は、群馬県片品村と栃木県日光市との県境にあって、標高2,578mの群馬県一高い山なんだ。

山の名前は、この山を遠くから見た時、雪で白く見えたり、火山で山肌がむき出しになっていて白く見えたりすることから、白く見える峰で白峰山(白根山)と名付けられたんだよ。

参考資料：「わたしたちの地名ぐんま」(社)群馬県子ども会育成団体連絡協議会発行

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

伊勢崎市景観サポーター 七條 清



七條 清さん



講座風景

私は平成24年度の帝京大学経済学部観光経営学科長大下教授による群馬県都市計画課主催“パートナーネットワーク講座”の入門編、発展編、応用編を履修し、平成25年7月9日(火)群馬会館ホールにて、群馬県知事より“群馬県まちづくりファシリテーター”の称号認定を頂きました。

現在私は、わが街伊勢崎市に於いて“目指せ！世界遺産の伊勢崎市”をテーマにして、境島村の田島弥平旧宅が富岡製糸場と絹遺産群の構成資産のひとつとして、世界遺産を目指してい

ます。そこでまず世界遺産で伊勢崎市を活性化につなげる何かを掴めないかと考えて、地道に頑張っている地元島村の市民団体みちくさ塾の金井拓美代表の了解を得て、同実行委員の一員として、田島弥平旧宅と養蚕農家群の見学と地域で活動しているサークルのコラボレーションのイベントを企画し実行しています。本年8月から12月にかけて、各月1回ずつ、島村にある田島弥平旧宅と養蚕遺産群の見学案内をぐんま島村蚕種の会ボランティアガイドとシルクの会の演奏や紙芝居とミニバンド、大正琴、フラダンス等を行って、身近に世界遺産候補の構成資産を認知して貰えるように取り組んでいます。群馬県まちづくりファシリテーターのノウハウを少しでも多く活かせるように、大切に活かして参りたいと思います。アシストされた滝沢さん、受講された方々、事務局の皆様大変お世話になり有難う御座いました。

マーチィの掲示板

おもしろまちうちライブラリー



現在のライブラリー登録数は、
書籍：454冊
ビデオ・DVD：54本
是非ご利用下さい。

皆さんは「おもしろまちうちライブラリー」をご存じですか？県内市町村の職員の皆さん、まちづくり市民団体の皆さんをはじめ、まちづくりに興味・関心のある県民の方々へ図書・ビデオ等の貸し出しをしています。知恵と作法がたくさん詰まっているライブラリーから、今後のまちづくりの参考としてぜひご利用ください。

現在登録されている全ての書籍とビデオ・DVDについては群馬県ホームページに掲載しています。

URL：<http://www.pref.gunma.jp/06/h5810125.html>



希望の書籍やビデオが貸し出し中の可能性がありますので、事前にご連絡下さい。また、まちづくりに関する本は随時購入可能ですので、お気軽にご連絡下さい。

TEL：027-226-3665(直通)



マーチィの独り言



新年あけましておめでとうございます。皆さん年末年始をいかがお過ごしでしょうか。

今年の干支は『午』。午といえば、ぐんまちゃん！群馬県が飛躍的な年(都市)に…

そんな私の抱負は、午年だけに、南船北馬。全国各地の街並みを見てまわりたいと思います！

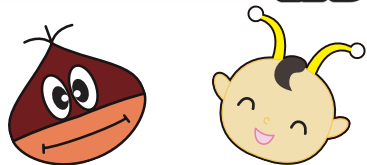
編集担当



表紙の答え：東京都新宿区神楽坂でした。地域資源を活用したまちづくりが魅力的です。



まちづくり イベント情報



下町夜市

下町通り商店街で、まちなかの活性化や商業者の育成を目的に行われている「下町夜市」。会場では、さまざまな料理やイベントを楽しむことができます。ぜひお越しください。

■ 1月18日(土)、
2月15日(土)、
3月15日(土)
18:00~21:00

■ 館林市下町通り商店街
【お問い合わせ先】
下町通り商店街振興組合
Tel 0276-73-6230



空き家見学会(仮)

都市地域の田舎暮らし希望者を対象に、実際に空き家物件をご覧ください。桐生市での暮らしをイメージしていただく見学会を実施いたします。

■ 3月1日(土) 10:00~13:00(予定)

■ 市内各所
【お問い合わせ先】
桐生市役所 観光交流課
交流促進係
Tel 0277-46-1111
(内線367)



防災まちづくり講演会・防災パネル展

ご専門が災害社会工学の群馬大学准教授金井昌信氏を講師にお迎えして、『今、求められる自主防災活動～災害犠牲者ゼロの地域づくり～』をテーマに、防災に関する講演会を開催します。また、あわせて「防災パネル展」も開催します。申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

■ 防災まちづくり講演会 1月11日(土) 13:30~16:00

防災パネル展 1月8日(水)~1月13日(月) 10:00~16:00

■ 有鄰館 レンガ蔵 (本町2丁目6番32号 電話 0277-46-4144)

【お問い合わせ先】

桐生市役所 重伝建まちづくり課 重伝建係
Tel 0277-46-1111
(内線346・347)



景観まちづくり賞表彰式・ 景観まちづくり講演会

良好な景観形成に寄与した活動を行う個人・団体の表彰と、帝京大学経済学部観光経営学科長の大下茂教授による「景観と観光の接点を考える～景観は地域の品格の現れ～」と題した講演会を開催します。

■ 1月23日(木)
13:30~15:30

■ 境総合文化センター

【お問い合わせ先】
伊勢崎市役所
都市計画課 景観係
Tel 0270-27-2767



思いやりの伝わるまちづくりをめざします

私たちTEEPは、公共事業コンサルタントとしての豊富な経験と専門的能力を備えた人材が集う組織で、まちづくりのノウハウに関する市民一人ひとりのレベルアップに貢献し、行政と対等で前向きな連携をサポートしていきます。

代表 齊田 典之 技術士:建設部門(都市計画) 特定非営利活動法人
事務局 〒370-0002 高崎市日高町580 (株)高崎測量内
TEL 027-361-2271 Mobile 090-1456-7338 E-mail tk-n_saida@takasoku.co.jp
Town Ecology Educate Produce

あなたの「まち」をサポートする まちづくり診療所

- ◎ 地域が目指す将来の姿に“化ける”ための取組み
- ◎ その地域ならではの持続可能なまちづくりの手法を追求
- ◎ 新しい「次世代の価値」「生きがいづくり」の提案

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

〒168-0073 東京都杉並区高井戸 1-39-13 グランフォレスト605
Tel.03 6379 8737 Fax.03 6379 8731



帝京大学 観光経営学科

学際的教養、豊かな国際感覚、
確かな専門知識をあわせ持った
人材を育成します。

入学試験情報 ※詳細は必ず入学試験要項 2014 をご確認ください。

	出願期間	選考試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般入試Ⅰ期	平成26年1月6日(月) ~1月23日(木)	【試験日自由選択制】 1月30日(木) 1月31日(金) 2月1日(土)	2月5日(水)	一次締め切り 2月12日(水) 二次締め切り 2月24日(月)

※一般入試Ⅱ期・Ⅲ期およびセンター試験利用入試については、ホームページまたは入学試験要項をご参照ください。
※一般入試Ⅰ期1月30日(木)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。

お問い合わせ先 八王子キャンパス広報グループ 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
TEL: 0120-508-739 URL: http://www.teikyo-u.ac.jp

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>